

## 答 辞

本日は、私達卒業生のために、このような盛大な式典を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、松永学長先生をはじめ、諸先生方、ならびにご来賓の皆様方にご臨席賜りましたことを、卒業生を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

振り返ると、農工大に入学してからの4年間はあっという間でした。入学当時、大学での新たな出会いや、学生生活への期待に胸躍らせたことは、今でも憶えています。そして、学業やサークル活動、学園祭などのイベントやアルバイトなど、忙しい日々を過ごしてきました。すべてが順風満帆であった訳ではありませんが、課題や壁にぶつかるたびに、多くの人々に支えられながら、懸命に取り組み、今日こうして無事に卒業式を迎えることができました。

東京農工大学は小規模な大学で、キャンパス内を歩いているとすぐに友人に出くわします。そんな友人たちの存在なくして、大学生生活を語ることはできません。全国から集まった、多様な価値観を持つ友人たちとの交流は、自分になかった考え方や、自分では気づけなかった自分の一面を気づかせてくれました。そして、そんな友人たちと作り上げた学園祭や、様々なイベント、旅行などの思い出は、私にとってかけがえのないものとなりました。友人たちとの別れは辛く寂しいですが、卒業後も同じ大学の仲間として再び会いたいと思います。

今日の私達を取り巻く状況は、決して易しいものではありません。しかし私達は、農工大での講義や専門分野の研究を通して、視野を広げるとともに自ら学んでいく姿勢を身につけることができました。こうした農工大での経験と、新たな出会いを大切に、それぞれが新たな道を、未来を、切り開いていきたいと思えます。

最後になりましたが、今までご指導してくださいました先生方、学生生活を支えていただいた職員の方々、私を支えてくれた友人、先輩、後輩に心から御礼申し上げます。そして、今日この日まで私を育て、成長を温かく見守ってくれた家族に深く感謝いたします。

本日は本当にありがとうございました。皆様方のさらなる御活躍を心よりお祈り申し上げ、感謝の気持ちを込めて、答辞とさせていただきます。

平成 25 年 3 月 26 日

卒業生代表

農学部 地域生態システム学科 4 年

保坂 俊